

☆全国高等学校定時制通信制体育大会 第24回バドミントン大会 出場



大洲高等学校脇川分校 バドミントン部

3年生 泉 ^{かずや}和也さん(左)

3年生 菊池 ^{しずく}瞳月さん(右)

泉さんと菊池さんは6月12日(日)に愛媛県総合体育館で開催された全国高等学校定時制通信制体育大会第24回バドミントン大会愛媛県予選において、それぞれベスト4に入賞し、8月16日(火)から19日(金)に神奈川県で開催される全国大会に愛媛県代表として団体戦に出場することが決定しました。

泉さんは持ち前のスピードを生かしたプレーが得意で、菊池さんは「絶対取れないと思ったところに打っても返してくる」と泉さんを評価します。一方、菊池さんはコースを打ち分けていくプレースタイル。泉さんは「難しいコースばかり狙ってくる、嫌なタイプ」と苦笑いしながら教えてくれました。

中学校ではそれぞれ別の部活に所属していたという2人にバドミントンの魅力について尋ねると「スマッシュを決めた時の気持ち良さ(泉さん)」「運動好きの私にとっては運動量の多いところ(菊池さん)」とのことで、全国大会に向けての目標については「まずは一勝(泉さん)」「昨年も出場したが悔しい思いをした。去年よりも出来ることを増やして大会に臨みたい(菊池さん)」と語ってくれました。

HighSchool NOW

～市内5校の高校生によるリレーエッセイ～

Vol.66 大洲農業高等学校

みなさんこんにちは。大洲農業高等学校食品デザイン科の井上^{なつし}捺志です。今回は食品デザイン科食品ビジネスコースの現場実習について紹介します。本コースでは、3年生になると課題研究の授業で学校周辺の店舗に赴いて現場実習を行っています。今年は4～6月の約2カ月間に渡って毎週木曜日に実習をさせていただきました。実習内容はスーパーや和洋菓子店での惣菜や焼き菓子の製造補助、バックヤードでの青果物の袋詰め^{そうざい}めなどです。人気商品の製造に携われることもあり、実習に出発する朝は毎回ワクワクします。普段は消費者として商品を購入する側ですが、現場実習では商品を作ったり、販売したりする生産者、販売者の立場を経験することができます。これから就職活動が本格的に始まるので、現場実習で得られた貴重な体験^{つな}を生かして進路実現に繋げていきます。



— 一次回は長浜高等学校からです。 —

きらめき
ニュース
シリーズ
お知らせ
情報ひろば
図書館
未来を拓く
保健センター
相談・救急

第5回市民文化会館ワークショップ

新しい市民文化会館の整備に向けてさまざまな意見を取り入れるためのワークショップを6月18日(土)に市役所大ホールで開催しました。昨年までは、コロナ禍の影響でオンライン開催となっていましたが、5回目で初めて、参加者22人が同じ会場に集まりました。

今回は「サブホール・交流エリアの利用を考えよう！」をテーマに中学生、高校生と大人と一緒にテーブルを囲んでアイデアを発表、意見交換を行いました。



平地区避難訓練

たいら自治会による「平地区避難所開設・避難訓練」が6月19日(日)に実施されました。午前9時に大雨洪水警報が発表されたとして訓練を開始。水位の上昇に合わせて自治会の災害対策本部が設置され、避難所の開設などを指示し、午前10時30分からは住民の避難が開始されました。避難先の平公民館などでは避難用のテントの設営や収納の訓練も同時に行われ、参加者は地域の防災行動力向上のために真剣に取り組んでいました。



救難ボート訓練

大洲市消防団による救難ボートの取扱訓練および機材点検が6月19日(日)に肱川で実施されました。

消防署職員の指導の下、救難ボートに乗り込んだ消防団員は、スラロームなどの走航訓練や河川に流されている要救助者の引き揚げなどの訓練メニューをこなしていました。この訓練は出水期を控え、水害発生時の活動に万全を期そうと実施されたもので、53人の消防団員が参加しました。



どろの中でキックオフ

三善小学校児童によるどろんこサッカーと田植えが6月20日(月)に開催されました。この行事はふるさとの自然に親しみ、地域の人たちとの交流を図ることを目的とした米作り体験の一環として、地元の人が管理する田んぼで行われています。児童たちは最初はおそろおそろ田んぼに足を踏み入れていましたが、田植え前のサッカー大会が始まると泥に足を取られながらも楽しそうに走り回っていました。





新就職者激励大会

大洲市で新たに就職した若者を対象に、新就職者激励大会が6月20日(月)に国立大洲青少年交流の家で開催され、大会には4月から新社会人となった41人が参加しました。新型コロナウイルスの影響により3年ぶりに開催された激励大会は参加・体験型の形式へと変わり、式典に続き午前中はレクリエーションを中心に、午後からはカヌー体験が行われ、参加した新就職者のみなさんは笑顔で交流を深めていました。



若い力を求めて

若者の雇用拡大を図るため、大洲・内子地域合同企業説明会が6月24日(金)、国立大洲青少年交流の家で開催されました。

説明会には地域の若い力を求める大洲市・内子町の企業50社と地元での就職を考える市内や近隣の高校生を中心とした学生が合計119人参加しました。会場には企業それぞれのブースが設置され、学生たちは気になる企業の説明に熱心に耳を傾け、質問も積極的に行っていました。



ねんりんピック開催に向けて

2023年に愛媛県で開催される第35回全国健康福祉祭(ねんりんピック愛顔のえひめ2023)に向けて、実行委員会の設立総会を6月24日(金)、大洲市総合福祉センターで開催しました。ねんりんピックは高齢者を中心とする国民の健康保持・増進や社会参加などを図ることを目的として1988年から全国で開催されていて、総会では実行委員会の開催方針や事業内容を説明しました。ねんりんピック愛顔のえひめ2023は令和5年10月28日～31日までの4日間、県内各地で開催される予定です。



男女共同参画社会づくり推進県民大会

第27回男女共同参画社会づくり推進県民大会が6月29日(水)、愛媛県男女共同参画センターで開催され、大洲市からは女性団体連絡協議会のメンバーが参加しました。大会ではまず、「ジェンダーギャップ(男女の格差)の解消に向けて」と題され、講師による女性参画に向けての他自治体での取組例やこれからの国の施策方針などが説明・紹介されました。続いて県内でジェンダー平等に取り組むNPOや企業の事例に沿ってパネルトークが行われました。

新大成橋が開通

平成30年7月豪雨により倒壊、流失した大成橋の復旧工事が完了し、開通式が6月25日(土)に開かれました。大川地区の大成体育館で行われた式典後には場所を現地に移し、テープカットやくす玉割が行われました。新しい大成橋は長さ約198m、車道の幅は以前のものより1m^{はしげた}広がった5mとなり、また洪水時に浸からないよう橋桁を高くするなどの工夫がされていて、総工事費は約12億円となっています。



カヌーで世界へ

7月1日(金)、2022 ICF 世界カヌーマラソン選手権大会へ出場する、大洲高等学校肱川分校の竹中^{いっせい}一教諭と全国高等学校定時制通信制体育大会にバドミントンの部で出場する生徒二人が表敬訪問で市役所を訪れました。竹中さんは5月に行われた全日本カヌーマラソン選手権大会で2位となり世界大会への出場権を獲得しました。世界大会は9月29日(木)にポルトガルで開催され、竹中さんは「世界大会で得た貴重な経験を生徒たちにお土産として伝えたい」と語っていました。



※バドミントンで全国大会に出場する泉さん、菊池さんについては「NEXTきらめき」のコーナーで紹介しています。

きらめき

ニュース

シリーズ

お知らせ

情報ひろば

図書館

未来を拓く

保健センター

相談・救急



こどものための音楽会

7月2日(土)、「えひめ南予きずな博」の連携イベントとして、愛媛交響楽団によるオーケストラ演奏が肱東中学校体育館で開催されました。

愛媛交響楽団は県内唯一の市民オーケストラで、生の演奏に触れる機会の少ない子供たちを対象として移動公演を行っています。今回は平成30年7月豪雨の被災地を応援する意味も込めての訪問となりました。

公演では演奏だけでなく楽器クイズなどのコーナーもあり、生徒たちは楽しく盛り上がっていました。



青色防犯パトロール出発

青色防犯パトロールの出発式が7月4日(月)に大洲警察署で行われました。出発式にはたいき地区青色防犯パトロール隊連絡協議会の会員約60人が出席し、大洲市少年補導委員会の伊達一輝^{かずき}さんが出発宣言を行った後、青色回転灯を点けた車が一齐にパトロールへ出発しました。青色防犯パトロールは現在で158台の車両が登録し、大洲警察署と連携しながら事故や犯罪の防止に努めています。



平成30年7月豪雨犠牲者へ哀悼の意

大洲市に大きな被害をもたらした西日本豪雨から4年を迎える7月7日(休)、市役所に献花台が設置され、市民など多くの方が献花に訪れました。

この日、会場では市や議会、消防関係者らが黙とうし、二宮市長が追悼の言葉を述べ、次々と献花を行いました。参列者は、犠牲者の冥福を祈るとともに、水害からの復興に取り組んだ4年間の思いを胸に刻みながら、今後も災害への備えや災害に強いまちづくりを進めることをあらためて誓いました。



夕焼けビールトロッコ列車運行

毎年、夏の風物詩として好評を得ている夕焼けビールトロッコ列車が今年も運行されるのに先立ち、7月8日(金)にオープニングセレモニーとしてのトロッコ列車が運行されました。運行地域や観光業界の関係者が乗った列車がJR長浜駅に着くと、地区の商店連盟や長浜高校の水産部が出迎えました。駅構内では地元の特産品の販売や、高校生によるクイズ大会が開催され、乗客のみなさんは商品を手に取りながら高校生からの一問一問に盛り上がっていました。

女性消防団員によるリスクウォッチ

大洲市消防団女性分団によるリスクウォッチが7月12日(火)に平公民館で開催され、平小学校の4年生が参加しました。リスクウォッチはアメリカで実施されている子供向けの危機管理教育で、川が増水した時はどうすればいいか、避難所には何を持って行けばいいかなどを、女性消防団員が劇で児童たちにわかりやすく伝えました。平成30年7月豪雨で被災した地域でもある平小学校の児童たちは女性消防団員の劇を真剣に見入っていました。



長浜海水浴場海開き

夏本番を迎え、長浜海水浴場の海開き安全祈願祭が7月15日(金)に行われました。祈願祭には地元の関係者など12人が参加し、期間中の海の安全を玉串を捧げながら祈りました。大洲市観光協会長浜支部の加藤裕介支部長は「長浜海水浴場はここ数年の間、大きな事故もなくシーズンを終えている。今年も怪我や事故の無いように家族や友人と長浜の海を楽しんで欲しい」と話していました。



高齢者救助に感謝状贈呈

7月20日(水)、大洲市高齢者見守りネットワーク協力事業者の日本郵政株式会社の肱川郵便局と職員の安宮玄さんに人命救助の感謝状を贈呈しました。

安宮さんは令和4年6月、配達先で怪我により意識が朦朧としている状態の高齢者を発見。119番通報から救急車が到着するまでの間、処置や声を掛け続けるなどして高齢者の意識を繋ぐとともに、救急車を誘導するなどの救助活動を行い、高齢者は一命をとりとめることができました。



写真左から安宮玄さんと局長の兵頭勇太さん

3年ぶりのプール開き

八幡浜・大洲地区運動公園水泳プールが7月23日(土)にオープンし、開園式が行われました。式では愛媛県指定無形文化財「大洲神伝流」の泳法披露とお菓子撒きが行われ、参加した子供たちは大喜びでお菓子を拾っていました。運動公園水泳プールは新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度から休止していて、今回は3年ぶりのプール開きとなり、訪れた人は久しぶりのプールを楽しんでいました。



祝 甲子園出場

帝京第五高等学校が第104回全国高等学校選手権愛媛大会で初優勝。全国大会への出場を決めました。



7月7日(木)から開幕した第104回全国高等学校選手権愛媛大会。7月25日(月)に坊っちゃんスタジアムで開催された決勝戦で第4シードの新田高等学校に6対4で勝利し、甲子園への切符を勝ち取りました。大洲市内の高等学校が夏の高校野球で甲子園に出場するのは初の快挙です。

帝京第五高等学校はノーシードから、^{あきのり}小林昭則監督のもと、全員一丸となって優勝まで上り詰めました。

戦績

	対戦校	結果
1回戦	東予	10-1
2回戦	松山北	5-0
3回戦	川之江	7-0
4回戦	聖カタリナ学園	10-3 (延長11回)
準決勝	松山学院	3-1 (延長10回)
決勝	新田	6-4



帝京第五高等学校野球部
主将 住吉 栄祐さん

甲子園では、守備からリズムを作ってバッティングに流れを持っていき、勝利を掴みたいと思います。一戦一戦しっかり戦って、帝京第五らしい試合をして、まずは初勝利できるように頑張りたいと思います。引き続き応援をお願いします。

以前の夏の大会では決勝戦で済美高等学校に負けてしまい悔しい思いをしていましたが、今年は優勝することができました。優勝が決まった瞬間は夢見心地のようで、感動して涙が出てきました。今回の大会は気迫がすごかったため、甲子園でも圧倒されることなく、気迫で勝ってほしいと思います。



帝京第五高等学校野球部
監督 小林 昭則さん



野球部保護者会
会長 久保 範恭さん

決勝戦をはじめ、部員全員がよく頑張ってくれたと思います。新型コロナウイルス感染症の影響で思うように練習試合もできていませんでしたが、優勝することができ、感動しました。選抜高校野球大会も含めて初勝利を挙げることができていないので、甲子園ではまず1勝を目指して頑張ってもらいたいです。

【ゴボウ衣の鶏つくね】



材料（2人分）

ゴボウ	70g
鶏ひき肉	120g
玉ネギみじん切り	80g
ショウガすりおろし	小さじ1
塩コショウ	適量
マヨネーズ	小さじ2
片栗粉	小さじ2
油	適量
醤油	小さじ2
みりん	小さじ2
酒	小さじ2
砂糖	小さじ1

作り方

- ① ゴボウはさがきにして水にさらし、キッチンペーパーで水気を拭き取る。
- ② ボウルにAを入れてよくこね、丸型に成型する。
- ③ ①を②の周り全体に付ける。
- ④ フライパンに油をひき、③を入れて蓋をして弱火～中火で両面をそれぞれ3分程焼く。
- ⑤ 焼けたら、Bを入れて絡ませる。

ゴボウの栄養

食物繊維が多い野菜の代表で、便を軟らかくしてくれる水溶性のものと腸の動きを活発にしてくれる不溶性のものがバランスよく含まれています。また、ゴボウの皮付近には、うま味と香りが存在し、抗酸化作用のあるポリフェノールという成分も含まれるので、なるべく皮を残したまま調理するのがおすすめです。



【レシピ提供：健康増進課】

私たちにもできる

SDGs



地球温暖化が問題とされ始めて随分経ちますが、その温暖化の大きな原因は二酸化炭素などの温室効果ガスの大気中濃度が増加することにあります。

産業革命以降、化石燃料の消費が増大し、温室効果ガスが大量に排出されることによって、太陽からの熱の吸収が増え、地球の温暖化が進んでいます。地球温暖化は単なる気温の上昇だけでなく、異常気象を引き起こし、熱波や干ばつ、集中豪雨などさまざまな自然災害が多く発生してきています。

このような状況を改善していくため、2015年のパリ協定によって産業革命以前と比べて世界の平均温度の上昇を2℃未満とすることを目標とし、さらに1.5℃未満に抑えるよう世界的に取り組むことが決定されました。

私たちもこの目標を達成するため、太陽光発電の利用や、電気自動車へのシフト、日頃の節電対策など取り組めることはたくさんあります。普段の生活から意識することで、みんなでこの問題に取り組みましょう。

文化財

たのくちてんまんぐう
田口天満宮のカヤ
大洲市指定天然記念物
天満宮所有



田口天満宮は、地蔵ヶ嶽城（現在の太田城）の城主であった宇都宮氏が、城の鬼門除け（陰陽道で北東方向に神仏を祀ること）として、北野天満宮（京都市）から勧請（神仏の分身を移して祀ること）した神社と伝えられます。

御神木として保護され地域のシンボルともなっているこの木は、樹高約20m、枝張り約17m、幹周4.1mの規模で、樹齢は約500年と推定されています。

カヤは大洲地域の山林でも自生していますが、建築材や彫刻材などとして重用されるため、これほどの大きさのものが残されている例は希少です。

(昭和37年11月3日指定)